

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-18 育児家庭支援事業 □支援部門		
主管課	こども相談課	関連課	こどもみらい課
分野名	健康福祉		
目標 (目標値)	市民同士による相互援助活動(ファミリーサポートセンター事業)を通じて、育児・介護の支援充実を図る。		

人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考	
	人口	177,895人	177,224人	177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯		
	事業の対象者数					
事業の対価						
運営資源状況	決算値(千円)	11,460	11,377	8,532		
	(国・県)	5,707	9,529	7,906		
	(負担金等)					
	(一般財源)	5,753	1,848	626		
	人員配置数	0.8人	0.8人	0.5人		
	人件費(千円)	6,224	6,429	4,321		
	協力のパートナー	NPO法人ふぁみりい	NPO法人ふぁみりい	NPO法人鎌倉市ファミリーサポートセンター市民会議		
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	17,684	17,806	12,853		
	市民1人当りの経費(円)	99	100	73		
	対象者1人当りの経費(円)					

ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒										

指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
支援会員数及び依頼会員数	◎	目標値	2,120	2,120	2,120	2,120	2,120
		実績値	2,799	2,887	3,014	3,165	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
育児家庭支援事業	11,460	育児家庭支援事業	11,250	今後の方向性	A	理由・手法 依頼会員の数は伸び続けており、その要望に応えるためにも支援会員の増員や稼働率の向上が求められるため。
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	支援会員の増加等のため、さまざまな広報の手段や機会を捉えて広報経路の拡大を図るとともに、支援活動の魅力や伝えていく必要がある。また、介護については、高齢者いきいき課が所管する高齢者生活支援サポートセンター事業への円滑な移行が求められる。						
課題解決のための取組	ふぁみさぼ通信の中で支援活動の魅力や機会を積極的に発信し、支援会員の増加に努めた。また高齢者いきいき課との情報共有に努めた。				取組の結果	■解決 □未解決	
未解決の課題	依頼会員の増加およびニーズの多様化に対応するため、窓口配付や広報に限らない周知活動を行い、支援会員の増加を図る必要がある。また、レイ・ウェル鎌倉の使用停止に伴い、事務所を玉縄青少年会館1階ロビーの一角に緊急移転したが、来訪者が落ち着いて相談できる場所へ早期に移転する必要がある。						
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	支援会員の増員とスキルアップを図る。 事務室については、来訪者が落ち着いて相談できる場所への移転を目指す。				A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ A		※□事業完了

評価者名 こども相談課長 平井あかね

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
育児家庭支援事業	子育て家庭の育児や高齢者等のいる家庭で支援を必要としている者とその手伝いをしたい者が助け合うファミリーサポートセンターを運営する。								
	主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1222	消耗品費	150	61	○	○	○	○
		1222	玉縄青少年会館配線等修繕料	0	141	○	○	○	○
		1222	電信料	312	333	○	○	○	○
		1222	ファミリーサポートセンター補償保険料	264	233	○	○	○	○
1222	ファミリーサポートセンター運営委託料	10,752	10,593	○	○	○	○		
1222	ファミリーサポートセンター引越委託料	0	99	○	○	○	○		
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								